

・本計画における施策の方向性（一覧）は以下に示すとおりです。

■倉吉市周遊滞在型観光地モビリティ向上計画 【施策の方向性（たたき案）】

周遊滞在エリア形成のための
課題解決の方向性

心ときめく出会いを生む モビリティ向上を基軸とした周遊滞在型観光地づくり

計画の基本方針	施策（案）		優先 施策	スケジュール （年度）				概算 事業費 （千円）
	施策の方向性	施策案		備考	R5	6	7	
1.周遊滞在エリア 全体での観光周遊 を支援する移動 環境をつくる 【交通体系づくり】	1) 安全・安心・快適に ゆっくり周遊滞在 できるエリア形成	① 観光散策ルートの歩行空間整備 -1.修景舗装（カラー舗装） -2.舗装修繕 -3.街路灯整備 -4.観光案内・誘導標識の見直し	・伝建地区内は整備済み ・凸凹部の補修等 ・観光地の魅力向上 ・エリア全体案内、路面標示での経路案内等	★	■	■	■	
		② 観光駐車場・バス停～観光拠点間の歩行空間整備 -1.舗装修繕 -2.街路灯整備 -3.観光案内・誘導標識の見直し	・凸凹部の補修等 ・観光地の魅力向上 ・エリア全体案内、路面標示での経路案内等	★		■	■	
		③ プロムナード公園の再整備	・プロムナード公園、宮川町観光駐車場の活用促進	★	■	■		
		④ 屋外ベンチの追加整備		★		■		
		⑤ 公衆用Wi-Fiの整備	・XRを活用した観光ツールの導入			■	■	
		⑥ エリア2Q等の導入	・自動車の進入や速度の抑制	★	□	□		
	2) 観光駐車場等の 適正な運用	① 経路案内看板の再整備	・琴櫻・赤瓦観光駐車場以外の駐車場へ誘導			■	■	■
		② webによる駐車場案内充実 -1.観光駐車場マップの添付 -2.駐車場の位置と経路案内 -3.駐車場の満空情報の提供	・グーグルマップへのリンク等 ・専用ページでの満空情報表示				■	■
		③ 各駐車場での名称表示	・敷地内出入口付近で統一された駐車場名称を明示	★	■	■		
		④ 駐車場内での観光案内看板の見直し	・宮川町観光駐車場等での配置等の再検討			■		
		⑤ 駐車スペースの表示等	・鍛冶町観光駐車場			■		
		⑥ 駐車場の機能の充実	・パークアンドライド機能、バイク・自転車の駐輪機能、ハートフル機能				■	■
		⑦ 琴櫻・赤瓦観光駐車場の廃止（利用転換）	・駐車場探しの自動車による混雑解消と観光地の魅力向上	★	□	□		
		⑧ バス回転広場の運用見直し	・観光バスのショットガン方式の採用、一般車両の駐車場設置等の検討			□	□	
	3) ループバスの導入 検討	① ループバスの導入検討	・当面、観光対応として休日のみ運行を検討 ・地域住民向けの平日運行については、市の公共交通の検討状況等を踏まえ、適切な時期に検討	★	□	□	□	
	4) グリーンスロー モビリティの導入	① サービス内容の詳細設定	・休日は観光客/住民向け定時定路線、平日はガイド付き観光ツアー、住民おでかけツアー等を想定	★	■	■		
		② 車両購入・車庫等の整備	・既存施設の活用等	★		■		
		③ 乗降場所整備・ルート明示	・起終点等での駐停車空間整備、看板設置等を想定	★		■		
		④ 運行ルートの除雪計画の策定・実施	・冬季運行におけるルートの確保	★	■	■		
	5) パーソナルモビリ ティの拡充	① レンタサイクルの拡充	・パークスクエアでの新設 ・運用方法の統一（乗り捨て等）				■	■
		② バイク・自転車の駐輪場の拡充	・琴櫻・赤瓦観光駐車場の活用、県立美術館での新設				■	
		③ 自転車周遊モデルコースの作成	・拠点間移動				■	■
		④ 多様なモビリティの研究					■	■

計画の基本方針	施策（案）			優先 施策	スケジュール (年度)				概算 事業費 (千円)
	施策の方向性	施策案	備考		R5	6	7	8~	
2.観光客が利用したくなる周遊モビリティをつくる 【魅力づくり】	1) 観光モデルコース作成	① 観光案内マップの作成	・周遊滞在エリア全体		■				
		② 観光モデルコース(グリスロ観光ツアー)の開発	・観光ガイドも考慮		■				
		③ グリーンスローモビリティの駐停車スペースの確保	・観光モデルコースの観光スポット			■	■		
		④ 路上の案内表示等の整備	・主要観光施設等への経路案内等				■	■	
	2) 利用環境・情報提供の充実	① モビリティマップの作成	・観光案内マップとの一体化を考慮			■			
		② 乗降場所の案内表示	・標柱等の設置			■			
		③ ルート・ダイヤの案内表示	・乗降場所や主要観光ポイント等での掲出			■			
		④ デジタルサイネージの設置	・モビリティの運行情報と併せて観光情報等も案内				■	■	
		⑤ webによるモビリティ案内の充実							
	3) 付加価値の付与	-1.モビリティ総合案内						■	
		-2.リアルタイムの運行情報案内	・位置情報、満空情報等					■	
		① 観光に特化したグリーンスローモビリティの運用							
-1.ガイド付きグリスロ観光ツアー開発		・観光モデルコースでの運行					■	■	
4) ネーミングや車両ラッピングの工夫	-2.観光ガイドの確保・育成						■	■	
	-3.自動音声ガイド等の設置						■	■	
	② モビリティと観光が一体になった観光商品の開発・導入	・施設との連携、観光MaaSへの参画等					■	■	
3.地域関係者の連携により、持続性を備え、親しまれる周遊モビリティをつくる 【地域連携強化】	1) 新たなモビリティの運行体制・事業スキームづくり	① 事業スキームの検討・調整	・有償運行を基本 ・関係者間の役割分担の設定	★	■				
		2) 新たなモビリティの地域住民外出支援ツールとしての活用検討	① サービス内容の詳細設定	・定期的なおでかけツアー等	★	■			
	② 事業スキームの検討・調整		・生活利用と観光利用との棲み分け・差別化に配慮	★	■				

■実施に向けた検討・実施
□実施の可能性検討

倉吉市周遊滞在型観光地モビリティ向上計画【整備方針図(案)】

〔周遊滞在エリア〕

【凡例1】

1.1) 安全・安心・快適にゆっくり周遊滞在できるエリア形成

- ① 観光散策ルート上の歩行空間整備
 - 1. 修景舗装、-3. 街路灯整備、-4. 観光案内・誘導標識の見直し
 - 2. 舗装修繕、-3. 街路灯整備、-4. 観光案内・誘導標識の見直し
- ② 観光駐車場・バス停～観光拠点間の歩行空間整備
 - 1. 舗装修繕、-2. 街路灯整備、-3. 観光案内・誘導標識の見直し
- ③ プロムナード公園の再整備
- ④ 屋外ベンチの追加整備

【凡例2】

1.2) 観光駐車場等の適正な運用

- ① 経路案内看板の再整備
- ③ 各駐車場での名称表示
- ④ 駐車場内での観光案内看板の見直し
- ⑤ 駐車場の機能充実

1.5) パーソナルモビリティの拡充

- ① レンタサイクルの拡充
- ② バイク・自転車の駐輪場の拡充

2.2) 利用環境・情報提供の充実

- ④ デジタルサイネージの設置

1.1) 安全・安心・快適にゆっくり周遊滞在できるエリア形成

- ⑤ 公衆用 Wi-Fi の整備

1.3) ループバスの導入検討

- ① ループバスの導入検討

1.4) グリーンスローモビリティの導入

- ① サービス内容の詳細設定
- ② 車両購入・車庫等の整備
- ③ 乗降場所整備・ルート明示
- ④ 運行ルートの除雪計画の策定・実施

1.5) パーソナルモビリティの拡充

- ③ 自転車周遊モデルコースの作成

2.1) 観光モデルコースの作成

- ① 観光案内マップの作成
- ② 観光モデルコース(グリスロ観光ツアー)の開発
- ③ グリーンスローモビリティの駐停車スペースの確保
- ④ 路上案内表示等の整備

2.2) 利用環境・情報提供の充実

- ① モビリティマップの作成
- ② 乗降場所の案内表示
- ③ ルート・ダイヤの案内表示

2.3) 付加価値の付与

〔鍛冶町観光駐車場〕

1.2) 観光駐車場等の適正な運用

- ⑤ 駐車スペースの表示等

〔琴塚横観光駐車場〕

1.2) 観光駐車場等の適正な運用

- ⑦ 琴塚・赤瓦観光駐車場の廃止(利用転換)

〔バス回転広場〕

1.2) 観光駐車場等の適正な運用

- ⑧ バス回転広場の運用見直し

〔ゾーン30指定エリア〕

1.1) 安全・安心・快適にゆっくり周遊滞在できるエリア形成

- ⑥ エリア20等の導入

【凡例(エリア)】

- 周遊滞在エリア
- 伝統的建造物群保存地区
- ゾーン30指定エリア

【その他の施策】

1.2) 観光駐車場等の適正な運用

- ② webによる駐車場案内充実

1.5) パーソナルモビリティの拡充

- ④ 多様なモビリティの研究

2.2) 利用環境・情報提供の充実

- ⑤ webによる周遊モビリティの案内情報提供

2.3) 付加価値の付与

- ① モビリティと観光が一体になった観光商品の開発・導入
- ② 全モビリティ共通利用券等の開発

2.4) ネーミングや車両ラッピングの工夫

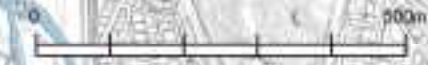
- ① モビリティのネーミング・車両ラッピング

3.1) 新たなモビリティの運行体制・事業スキームづくり

- ① 事業スキームの検討・調整

3.2) 新たなモビリティの地域住民外出支援ツールとしての活用検討

- ① サービス内容の詳細設定
- ② 事業スキームの検討・調整



1 実施体制・今後のスケジュール

○次年度以降は、本計画の方向性と具体策に基づき、優先順位をつけながら個別具体的な検討を進めるとともに、モビリティ等の導入に向けた準備を進めます。

○本計画の推進にあたっては、適宜、『倉吉らしい周遊滞在型観光まちづくりを考える会』や3部会（交通体系づくり部会、魅力づくり部会、地域連携強化部会）の構成機関・団体と調整・報告を行いながら、地域一体となって本計画を推進できるように努めます。

○更に、本計画の実効性を高めるため、適宜、有識者等の意見も取り入れながら、適切に計画を推進していきます。

▼全体スケジュール

